

科目名 Course Name	国際関係論入門 International Relations introduction			ナンバリング No.	A1-009		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡方法	C-ラーニングで対応。質問等は授業終了後、あるいは教員用メールアドレスにて受け付けるものとする。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	現代の国際社会を考察するうえで欠かすことのできない国際関係論の基礎を習得する。 ① 本講義を通して、国際社会の成立と関係性について述べられるようにする。 ② 国際関係論について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。 ③ 安全保障、国際法や現代の東アジア情勢の基礎的知識を習得できるようにする。						
授業の方法	パワーポイントを用いた講義・ディスカッション形式にて授業を行う。 補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。 第 13～15 回授業では、生徒諸君にテーマを策定してプレゼンテーションを実施してもらう。						
学習成果	L01	国際社会の礎となる諸概念について学ぶことができる。					
	L02	学習を通して、現代の国際関係について考察することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業について質問があった際はメールまたは文書にて各自フィードバックする。						
教科書/参考図書							
履修上の留意点やルール等	① 折を見て質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。 ② 遅刻は原則認めない(当日やむを得ない場合は学生支援課を通じて連絡すること) ③ 外国人生徒へ。本授業はより高い日本語技能が必要である。 (To foreign students. This class requires higher Japanese language skill)						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点とする。		30		
レポート/作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもらう。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		15		
発表	プレゼンテーションを実施してもらう。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。	40			
小テスト		15			
試験					
その他					
合 計		55	45		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等について)、イントロダクション
	事前・事後学習	ガイダンスの内容に基づき、履修の決心を固めること。
2	授業内容	国際関係論はどのような学問なのか
	事前・事後学習	国際関係論について調べておくこと。
3	授業内容	20世紀の国際関係をどう理解するのか
	事前・事後学習	第一次～第二次世界大戦、冷戦などの用語について調べておくこと。
4	授業内容	今日の国際関係をどう読むのか
	事前・事後学習	9・11、テロとの戦い、ネオコンなどの用語について調べておくこと。
5	授業内容	グローバリゼーションの時代をどう読むのか
	事前・事後学習	グローバリゼーションについて質問するので、答えられるようにしておくこと。
6	授業内容	現代の安全保障をどう読むのか
	事前・事後学習	安全保障という概念について調べておくこと。
7	授業内容	北東アジアの政治と国際関係
	事前・事後学習	日中韓の3国関係の歴史について調べておくこと。
8	授業内容	国際社会における日本の位置づけをどう読むのか
	事前・事後学習	戦後における日本の動きについて調べておくこと。
9	授業内容	国際関係理論とは何か
	事前・事後学習	リアリズム、ネオリベラリズム、コンストラクティヴィズムについて調べておくこと。
10	授業内容	国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論
	事前・事後学習	「積極的平和」と「消極的平和」について調べておくこと。
11	授業内容	リージョナリズムと欧州統合
	事前・事後学習	EU(ヨーロッパ共同体)について調べておくこと。
12	授業内容	南北問題をどう解決するのか
	事前・事後学習	先進国と途上国の格差について調べておくこと
13	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと。
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと。
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション③
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと。